

2022年7月28日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F P G  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 谷 村 尚 永  
(東証プライム・コード：7148)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 部 長 桜 井 寛  
( TEL. 03-5288-5691)

2022年9月期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2022年4月26日に公表した2022年9月期の業績予想及び配当予想を、下記の通り修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年9月期通期連結業績予想数値の修正(2021年10月1日～2022年9月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	49,000	9,700	10,000	6,700	78.45 円
今回発表予想 (B)	56,500	11,000	11,500	7,700	90.16 円
増 減 額 (B - A)	7,500	1,300	1,500	1,000	
増 減 率 ( % )	15.3	13.4	15.0	14.9	
(ご参考) 前期通期実績 (2021年9月期)	14,924	5,233	5,148	2,946	34.51 円

(注) 2022年9月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用し、不動産ファンド事業における不動産小口化商品の販売に関する会計処理について、前期までの当社利益相当額(当社役員手数料相当額)を売上高に計上する方法から販売価額相当額を売上高に計上する方法に変更しております。当該売上高の計上方法の変更による上記各利益への影響はありません。上記の前期実績における売上高は、「収益認識に関する会計基準」等の適用前の金額であり、不動産ファンド事業について同じ方法で処理した場合の売上高は33,584百万円となります。

修正の理由

リースファンド事業におきましては、組成を積極的に行うとともに、収益率の高い案件の出資金販売が好調に継続した結果、第3四半期累計期間の売上高が前年度通期実績値を超過する見通しとなりました。また不動産ファンド事業につきましても、旺盛な需要のもと、積極的な組成を行うとともに販売が好調に推移し、第3四半期累計期間の売上高が従前の通期予想値を超過する見通しとなりました。これらの結果、通期の売上高は前回公表の通期予想値を超過する見通しとなり、さらに、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、第3四半期累計期間において前回公表の通期予想値を超過する見通しとなったことを受け、上記のとおり、通期業績予想のさらなる上方修正を実施するものです。なお、第3四半期累計期間の実績につきましても、2022年7月29日の決算発表時に公表する予定です。

## 2. 配当予想の修正について

	1株当たり年間配当金			配当性向 (連結)
	第2四半期末	期末	合計	
前回予想(2022年4月26日発表)		40円00銭	40円00銭	51.0%
今回修正予想		46円00銭	46円00銭	51.0%
当期実績	0円00銭			
前期実績(2021年9月期)	0円00銭	18円50銭	18円50銭	53.6%

### (修正の理由)

株主還元につきましては、持続的な成長と企業価値向上のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的かつ安定的な配当を実施することを基本方針とし、連結配当性向 50%を目安としております。今般、業績予想を上方修正したことに伴い、上記の基本方針を踏まえまして、当期の配当予想を1株当たり46円00銭に修正いたしました。

(注)上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により変動する可能性があります。

以 上